

2025 年 3 月 28 日

非化石証書の購入による CO₂排出量削減

再生可能エネルギー由来の電力を積極的に活用

京急建設株式会社（社長：土屋剛、以下当社）は、京急グループ全体で掲げる「京急グループ 2050 年カーボンニュートラル」の達成に向けて、2024 年度の事業活動に伴う電力使用量の一部を再生可能エネルギー由来の電力に置き換えます。

今回、当社の主な工事事務所にて使用した業務用電力に 100%再生可能エネルギーの環境価値で賄う「トラッキング属性付き FIT 非化石証書（120,000kWh 分）」を導入することで、CO₂排出量を約 46.8t-CO₂削減したとみなされます。

当社では引き続き、SDGs 13「気候変動に具体的な対策を」の目標達成に貢献するとともに、「京急グループ 2050 年カーボンニュートラル」の実現に向けて、CO₂排出量削減に努めてまいります。

対象

2024 年度の事業活動に伴う電力使用量の一部（主な工事事務所で消費している電力使用量）

発電源

北海道の太陽光発電設備

電力量

120,000kWh （CO₂排出量の削減効果：約 46.8t-CO₂）

